令和５年度

チーム鶴谷

自主　　共生　　創造

令和５年 12 月 20 日
仙台市立鶴谷中学校
学校だより第９号（12 月号）
文責　教頭　舟岡

http://www.sendai-c.ed.jp/~turujhs

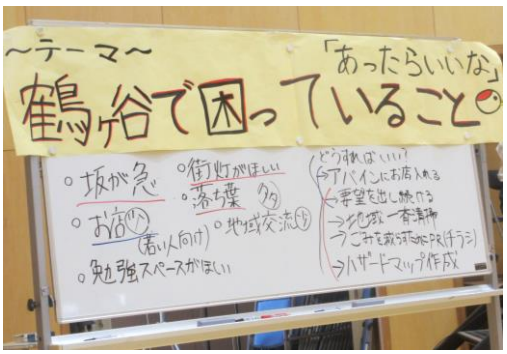
来年もチームで　～その一歩の支えとなる～

今年もあとわずかとなりました。保護者の皆様には様々な学校行事等で大変お世話になりました。今年はコロナウィルス感染症が第５類と認定されました。そのため、学校行事を単純にコロナ前に戻すだけでなく、そのねらいに到達するために必要なことを考えながら、行事の精選を図りながらの実施となりました。新しい形態での実施のため、ＰＴＡ役員の皆様をはじめ、保護者の皆様には様々な御協力をいただいたおかげで大成功を収めることができました。来年も生徒たちがのびのびとそして夢に向かって力強く前進できるように、保護者や地域の方とチームとなり、支えていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。また、３学年では進路指導も本格化しています。12 月 12 日から面接練習を実施しています。緊張感ある中で自分の進路への思いを伝えることは大変難しかったようです。３学年に限らず、先に進むことは誰しも不安です。生徒が新しいことを始める時や自分の目標に向かって進むときに、保護者や地域の皆様とともに「チーム鶴谷」となって、その不安を和らげ励ましていきたいと思います。

12 月の花はクリスマスローズを選びました。花言葉は、**「不安を和らげる」「支える」**などです。生徒たちが今年を振り返り、来年に向かって進む際に、生徒の声に耳を傾け、その不安を共有しながらも力強く進めるようにその一歩の支えとなっていきたいと思います。

＜チームニコ鶴プロジェクト新企画　「あつまれ！杜のフェスティバル」開催！＞

今年度から自分たちの力で地域の力となるチームニコ鶴プロジェクトが始動しています。その中での新企画として、市民センターを会場に 12 月９日には「あつまれ！杜のフェスティバル」が行われました。10 時からのステージでは鶴谷小学校・鶴谷中学校・仙台第三高等学校の児童・生徒がそれぞれ自分たちが取り組んできたことを発表しました。中でも地域の方と中高生が行ったパネルディスカッションは、鶴ヶ谷地域の課題について、それぞれの立場から考えを発表するだけでなく、その解決に向けて必要なことについて熱心に討議していました。こうした地域の学生が地域のために考え行動する「チームニコ鶴プロジェクト」は来年はさらに拡大し、鶴谷東小学校も加え、地域の若い力を中心にその魅力を発信していきたいと思います。



○　チームニコ鶴プロジェクト　参加生徒の声

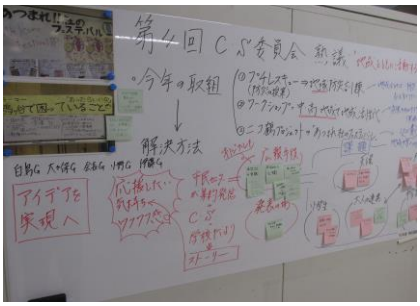
・小学生がとても多く参加してくれた。一方で大人の方の参加が少なかったので地域の方向けに情報を発信したい。
・当日でもアイデアを出し合うことができた。来てくれた人が見やすいように看板を置いたり、放送でステージについて紹介するなど工夫することができた。とても良い経験となり自信につながった。
・小さい子から大人まで幅広い年齢の方が来てくれてうれしかった。ステージの他にいろいろな方に楽しんでもらえる工夫をしていきたい。来年はもっと完成度を高めたい。

○　チームニコ鶴プロジェクト　来場の方の声

・見る人を意識した楽しいイベントでした。ぜひ来年もやってほしいです。
・小学生もとても楽しんでいました。いろいろな企画があって、参加している生徒さんがいきいき動いている姿に元気をもらいました。
・パネルディスカッションでは自分の意見をはっきり持っていて頼もしいと思いました。
・忙しい中の準備お疲れ様でした。毎年続いてさらに参加する方が増え、鶴ヶ谷をさらに元気に盛り上げてほしいです。

＜令和６年度コミュニティ・スクールも発足！次年度に向けて＞

12 月 13 日には令和５年度のＣ・Ｓの最終回と令和６年度の第１回Ｃ・Ｓが同時に実施されました。令和５年度の委員さんには今年度から始まった「チームニコ鶴プロジェクト」や「プチレスキューと地域防災訓練」そして「ワークショップ」などを支えていただきました。令和６年度の委員さんにはその思いを引き継いでいただき、さらによりよい活動へしていただきたいと考えております。会議では令和５年度と令和６年度のＣ・Ｓ委員の皆さんで熟議を行いました。上記の参加生徒の声にもあるように、より多くの地域の方に「チームニコ鶴プロジェクト」を知ってもらうためのアイデアや学生たちが「パネルディスカッション」で課題解決のために考えた意見を実現するための方法などが出されました。



＜新生徒会も次年度に向けて！＞

新生徒会も始動しました。12 日には仙台市の中学校の生徒会役員が会議をし、よりよい生徒会活動を考える「生徒会合同会議」がオンライン会議で実施されました。この会議は各学校の取組を共有し、参考になった取組を自分の学校でもいかそうというものです。この会議に参加した生徒会長もこの経験を生かして来年度に向けて様々な取組に挑戦したいと話していました。特に人来田中学校で取り組んでいる常任委員会の公開は、広く生徒に決定の経緯を知ってもらうためには効果的だと話しています。今までやってきた縦割りあいさつ運動やペットボトルキャップ回収に加えて、新たに挑戦する試みにも勇気を持って進めるよう支えていきたいと思います。今年も最終週となり、各学年で学年集会が行われております。生徒たちが今年を振り返り、来年に向かって進む際に、生徒の声に耳を傾け、その不安を共有しながらも力強く進めるように職員一丸となってその一歩の支えとなっていきたいと思います。

※第三者への公開・開示や不当な目的での使用、複写及び複製を禁じます。